

岡山大学シラバス作成の手引き(簡易版)

- 詳しいシラバス作成の方法は、『シラバス作成の手引き』の原版で確認してください。
- 日本語版・英語版、両方のシラバスを作成してください。

【岡山大学のシラバス項目(学部・大学院共通)(日本語版・英語版共通)】

<基本情報> システムから自動的に取り込む項目のため、入力は不要です。修正が必要な場合は、教務担当へ連絡してください。

項目名(日本語・英語)			
授業科目 Course Title	学期 Term	単位数 Number of Credits	担当教員 Instructor(s)
講義番号 Course Number	教室 Classroom	メディア授業科目 Online Classes	対象学生 Target Students
科目区分 Classification	必修・選択の別 Required or Elective	曜日・時限 Day and Period	

<詳細情報> 授業を担当する教員が入力します。

項目名(日本語・英語)	説明
他学部学生の履修の可否 Open to Other Faculties	「可」、「否」、「対象学生の項目を参照」をラジオボタンから選択してください。
連絡先 Contact Information	公開している連絡先と手段を記入してください。(推奨:メールアドレス)。
オフィスアワー Office Hours	指定曜日・時間・対応する場所(研究室など)・予約の要否などを記入してください。
学部・研究科独自の項目 Faculty, Program, or Graduate School Specific Items	各学部・研究科で独自に必要な事項を記入してください。
使用言語 Language	使用言語の区別をラジオボタンから選択してください。
授業の概要 Course Description	授業の全体像を把握できるよう、授業の概要について、学生が理解しやすい表現で記入してください。その際、学習目的(なぜ該当授業を学修する必要があるか、何のために該当授業が存在するか)を簡潔に記入してください。
到達目標 Learning Outcomes	学生が、授業終了後には「こんなことができる」ようになる、というイメージを抱けるよう記入してください。授業の終了段階で、学生が到達できる内容(知識や行動など)について、学生を主語にして「〇〇できる」という形式で記入してください。観察可能な具体的な内容で記入してください。
授業計画 Course Schedule	学生が授業の全体(初回から最終回まで)を把握できるよう、各回の授業テーマや学習内容を具体的に記入してください。
授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む) Learning Activities Outside Classes	学生が授業全般の予習・復習内容をイメージできるように記入してください。授業において別途指示する予定の場合は「授業において別途指示する」等と記入してください。
授業形態・学習方法 Teaching Format and Learning Method	(1) 授業形態 - 全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合 □:□ 講義形式と講義形式以外の実施割合を記入してください。ラジオボタンから実施割合(%)を選択してください。

	<p>(2) 授業形態 – 授業全体の中のアクティブ・ラーニングの内容 ラジオボタンから選択してください。各選択肢の目安は、※1のとおり。</p> <p>(3) 授業形態 – 実践型科目タイプ 実践型教育科目に該当する場合は、実践型科目タイプをラジオボタンから選択してください。詳細については、※2を参照。</p> <p>(4) 授業形態 – 履修者への連絡事項 ユニバーサルデザインの視点で、誰にとっても有益な情報を詳細に記入してください。詳細については、※3を参照。文化・言語・国籍の違い、年齢・性別や障がい等に配慮した観点で記入してください。</p>
<p>使用メディア・機器的支援の活用 Usage of Media, Equipment, and Teaching Support</p>	<p>(1) メディア・機器・人的支援の活用 使用メディア等の活用について、ラジオボタンから選択してください。基準は、※1のとおり。</p> <p>(2) 履修者への連絡事項 ユニバーサルデザインの視点で、誰にとっても有益な情報を詳細に記入してください。詳細については、※3を参照。文化・言語・国籍の違い、年齢・性別や障がい等に配慮した観点で記入してください。</p>
教科書 Textbook (s)	教科書の ISBN による自動入力、または「備考」欄に指示事項をテキスト形式で記入してください。
参考書 Reference Material (s)	参考書の ISBN による自動入力、または「備考」欄に指示事項をテキスト形式で記入してください。誰にとっても有益な情報として、配布資料の有無も記入してください。詳細については、※3を参照。
成績評価 Grading	到達目標との関連で、各自の成績評価がどのようになされるのかをできるだけ具体的に明示してください。複数の評価方法を使用する場合は、それらの配分割合（例：テスト60%、レポート20%、ディスカッション20%）を記入してください。
受講要件 Prerequisites	事前に履修が必要な科目や、受講するにあたり持つておくべき知識等、受講の前提条件を記入してください。
教職課程該当科目 Part of Teacher Training Program	全学教職課程科目に該当する科目については、「教職課程該当科目」と記入してください。全学教職課程に該当しない科目については、「該当なし」と記入してください。
JABEEとの関連 Relation to JABEE	「日本技術者教育認定機構 (JABEE) の基準1の内容」にある基準1の項目 (a)~(i)の中から、できれば複数個の項目を選んで文章または記号で記入してください。詳細については、※4を参照。
持続可能な開発目標 (SDGs) Sustainable Development Goals (SDGs)	SDGs の17の目標のうち、関係する項目をチェックボックスから選択してください。(複数選択可能) SDGs の17の目標の詳細については、※5のとおり。
実務経験のある教員による授業科目 Practitioner - Teacher (s)	授業科目に関連した実務経験がある教員が担当している場合はチェックを入れ、テキストボックス欄に実務経験の内容を記入してください。定義については、※6のとおり。
備考／履修上の注意 Other Comments	受講する学生への要望や期待事項、注意等を記入してください。重複履修不可の科目がある場合は、必ず備考欄に記入してください。
ナンバリングコード Numbering Code	プルダウンから選択してください。詳細については、※7を参照。
学修成果 (LCOs) Learning Outcomes	<u>2025 年度以降入学者からコンピテンシーの運用が廃止となることから、2025 年度以降入学者対象科目については、記入は不要です。2024 年度以前入学者対象科目のみ記入してください。(医学部医学科の専門教育科目を除く。)</u> 各部署で設定された学修成果から該当する項目をチェックしてください。チェックした学修成果に対する評価の方法を記入してください。詳細については、※8を参照。

※1:「多い～なし」の区分の目安は、全授業回に対して、以下のとおり。

- ほぼ毎回: ほぼ毎回の授業で実施(活用)する
- 半分以上: 半分以上の授業回で実施(活用)する
- 半分未満: 半分未満の授業回で実施(活用)する
- 1~2回程度: 1~2回程度で実施(活用)する
- なし: 一度も実施(活用)しない

※2:別紙『シラバスの「実践型」記載依頼(地域総合研究センターより)』参照

※3:別紙『シラバス記載上の配慮依頼(高大接続・学生支援センターより)』参照

※4:JABEE 認定の学部(学科)の学生が明らかに履修しない場合は別として、原則としてすべての教養教育科目が JABEE 対応に該当するとお考えください。

「日本技術者教育認定機構(JABEE)の基準Ⅰの内容」基準Ⅰの学習・教育到達目標

- (a)地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b)技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
- (c)数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する能力
- (d)当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
- (e)種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f)論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g)自主的、継続的に学習する能力
- (h)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i)チームで仕事をするための能力

・ JABEE との関連を記入するに当たってご質問等がありましたら、自然系研究科等学務課工学部担当(内線 8019)へお尋ね下さい。

※5:SDGs の17の目標については、以下 HP を参照。

<https://sdgs.okayama-u.ac.jp/>

※6:別紙『シラバス項目「実務経験のある教員による授業科目」の入力について』参照

※7:ナンバリングコードの詳細は、以下 HP を参照。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/numbering.html>

※8:別紙『シラバス項目「学修成果(LCOs)」について関連説明』参照

専門教育科目(教養教育科目として取り扱うもの)のコンピテンシーは、各学部のコンピテンシーとなります。